

補助事業番号 19-1-098  
補助事業名 平成19年度 生活文化創造都市拡充プロジェクト補助事業  
補助事業者名 財団法人 日本ファッション協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

平成15年度より3年計画でスタートした「生活文化創造都市創出プロジェクト」の成果を受け、平成18年度から新たな3年プロジェクトとして「拡充プロジェクト」を立ち上げ、生活文化創造都市のより一層のコンセプトの充実及び参加都市の拡大を図り、文教、環境その他の公益の増進に寄与することを目指した活動を展開している。

平成19年度は、18年度の活動成果を踏まえ、より具体的な生活文化創造都市のあり方を求め、地域での活動を強化することを目的とする。

### (2) 実施内容

#### ア. 推進会議・地域会議

「生活文化創造都市の指標化」を目指して、18年度は都市の「文化力」、19年度は「創造産業力」の指標化に取り組み、最終年度の平成20年度には、指標化の総まとめを行う予定である。

指標化を含める「生活文化創造都市」のコンセプトの充実と新規取り組み都市の拡充を目指して、多様な分野の有識者を構成メンバーとする「生活文化創造都市推進会議」を設置し、年度内に3回推進会議を開催した。

また、推進会議委員の協力を得て、定量的な調査だけでなく、定性的な視点からも都市の特性を明確化するため、「浜松市、桐生市、奈良市、倉敷市」において「地域会議」を開催し、各市で実際に文化・経済・行政に携わっている方々から各市の抱える課題や目標像などについて多様な意見を伺い、分析を行った。

さらに、生活文化創造都市の新規取り組み地域の拡大に向けて、豊かな自然環境を背景とした地域の生活文化の活性化をテーマに「弘前地域会議」を実施した。

「浜松市、桐生市、奈良市、倉敷市」での地域会議の概要を含む指標化調査の結果、及び弘前地域会議の結果、3回の推進会議の概要を報告書にとりまとめ、各関係方面に配布した。

#### ■ 桐生地域会議

開催日：9月20日（木）

会場：桐生商工会議所 会議室

座長：福井昌平氏（株）コミュニケーション・デザイン研究所 代表取締役社長

参加者：23名（協会関係者含む）

■浜松地域会議

開催日：9月28日（金）

会場：浜松市役所 会議室

座長：佐々木雅幸氏 大阪市立大学 都市研究プラザ所長

参加者：20名（協会関係者含む）

■奈良地域会議

開催日：10月11日（木）

会場：奈良市役所 会議室

座長：佐々木雅幸氏

参加者：18名（協会関係者含む）

■倉敷地域会議

開催日：10月22日（月）・23日（火）

会場：倉敷市役所 市長対話室

座長：望月照彦氏 多摩大学大学院教授

参加者：25名（協会関係者含む）

■弘前地域会議

開催日：2月14日（木）

会場：弘前商工会議所 2階大ホール

テーマ：世界自然遺産白神山地の恵みから創造する地域再生の試み

主催：（財）日本ファッション協会、弘前商工会議所

参加者：約80名

コーディネーター：望月照彦氏

パネリスト：田中央氏 株式会社田中デザインオフィス 代表取締役

2006世界自然遺産「白神山地」めぐみ開発委員会委員長

根深誠氏 弘前在住の行動する文筆家、登山家

永田麻美氏 株式会社ジーエフシップ『空ト風ニ』編集室・編集長

イ. 全国大会

創造産業力の指標化の結果と4市の地域会議の結果などを広く社会に発信するため、浜松市において「Creative Japan全国大会2007 in 浜松」を開催した。

その結果を報告書にとりまとめ、全国大会の参加者をはじめ、各関係方面に配布した。

開催日：12月13日（木）

会場：浜松名鉄ホテル4F芙蓉の間

出席者：約150名

テーマ：生活文化創造都市の文化と産業のあり方を求めて

<セッションI>：

テーマ「指標化調査結果報告——今年度調査対象4都市の現状と未来像を含めて」

コーディネーター：加藤尚彦 日本ファッション協会ゼネラルディレクター

コメンター：佐々木雅幸氏 大阪市立大学都市研究プラザ所長

福井昌平氏 (株)コミュニケーション・デザイン研究所 代表取締役社長  
望月照彦氏 多摩大学大学院 教授  
調査報告： 杉浦幹男氏 都市文化創造機構 理事、大阪市立大学都市研究  
プラザ特任講師  
〈セッションⅡ〉：鼎談「創造都市・浜松の実現に向けて」  
鼎談者： 鈴木康友氏 浜松市長  
川勝平太氏 静岡文化芸術大学 学長  
佐々木雅幸氏 大阪市立大学都市研究プラザ所長

## 2. 予想される事業実施効果

### ア. 推進会議・地域会議

平成18年度の都市の「文化力」、平成19年度の「創造産業力」の指標化と2年間にわたり、多様な視点から指標化を試みたことによって、「生活文化創造都市」の目標像の明確化が図れ、関係方面からの注目度も高まっている。引き続き、「生活文化創造都市拡充プロジェクト」の最終年度に当たる平成20年度には、指標化の総まとめを行う予定であり、それによって「生活文化創造都市」を標榜する地域にとってより有効な指標を提示することができると考えている。また、その成果を広く全国にアピールすることによって、より一層取組み地域の拡充が図れるものと期待される。

さらに、「地域会議」の開催によって、地域の中で「生活文化創造都市」への理解を醸成し、その実現に向けた具体的な活動推進につながると考えられる。

### イ. 全国大会

指標化の成果を中心に発表するセッションと、開催地域の具体的な活動について深く議論するセッションの二つのセッションを実施することによって、全国からの参加者及び開催地域の参加者双方のニーズに適切に対応した情報を提供することができたことから、それぞれのまちづくりの推進に寄与できると予想される。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

生活文化創造都市拡充プロジェクト 平成19年度活動実施報告書  
「Creative Japan 全国大会 2007 in 浜松」 パンフレット  
「Creative Japan 全国大会 2007 in 浜松」 実施報告書

#### 4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名： 財団法人日本ファッション協会  
(ザイダンホウジンニホンファッションキョウカイ)

住 所： 103-0022  
東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル6階

代 表 者： 理事長 馬場 彰(リジチョウ ババ アキラ)

担当部署： 本部

担当者名： ディレクター 鈴木 かおり(スズキ カオリ)

電話番号： 03-3242-1677

F a x： 03-3242-1678

E-mail： [suzuki@japanfashion.or.jp](mailto:suzuki@japanfashion.or.jp)

U R L： <http://www.japanfashion.or.jp/>